



平成 27 年 2 月 9 日

各 位

会社名 株式会社メディアフラッグ  
代表者 代表取締役社長 福井 康夫  
(コード番号：6067 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 管理部 部長 中園 利宏  
(TEL 03-5464-8321)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成26年8月11日に公表した平成26年12月通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 26 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,600	250	220	110	24.03
今回修正予想 (B)	6,935	332	300	145	33.07
増減額 (B-A)	335	82	89	35	
増減率 (%)	5.1	32.8	36.4	31.8	
(参考) 前期実績 (平成 26 年 12 月期)	3,434	247	246	134	31.90

#### 2. 差異が生じた理由

当期（通期）は、当社単体において国内既存事業の主力である流通支援事業および営業支援事業での新規受注および既存取引先案件が第4四半期をピークとして順調に推移するとともに、インドを中心としたアジアにおいて流通小売業向けのコンサルティングサービスの受注が拡大し、連結業績に大きく寄与いたしました。

また、平成 26 年 7 月より連結子会社化した小型デジタルサイネージの開発・販売を行う株式会社 impactTV については、同社と当社の双方において、新規営業先および既存取引先に対してお互いの商品・サービスを併せて案内、提案することで両社の売上拡大を実現させてまいりました。さらに同社の費用構造の見直し等により収益性を改善したため、2 期連続赤字であった同社は今期黒字化して連結業績に貢献いたしました。

加えて、関西エリアを中心に推奨販売事業を手掛ける子会社 cabic 株式会社が第4四半期の受注好調により通期で利益計上いたしました。

以上より当期の連結業績は売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を上回ることとなりました。

以上